

AsReader (ASX-510R / ASR-010D)

バーコード設定マニュアル

株式会社アスタリスク

第 1.2 版

※機能修正などにより、予告無く修正されることがあります。

この資料は、バーコードの設定マニュアルです。

【使用パラメータ】

本製品は、2 ページからの表に記載の工場出荷時設定で出荷しております。

スキャンエンジンの工場出荷時設定は、電源が切られても覚えていますので、初期化する場合は 6 ページの初期化バーコードをスキャンし、工場出荷状態にして下さい。

設定の変更は、このマニュアルにあるバーコードを読みとっておこなって下さい。

変更履歴

版数	発行日	改訂履歴
第 1 版	2014/8/11	初版発行
第 1.1 版	2015/12/14	3 頁 パラメータデフォルト表の誤字を訂正 13 頁 セキュリティレベルの詳細を追記
第 1.2 版	2017/9/7	一部の記載を修正

パラメータの設定にあたり

パラメータを設定するときは、十分なバッテリーがある状態で行ってください。

パラメータデフォルト

工場出荷時のパラメータ一覧です。

それぞれの設定を変更するには、該当頁のバーコードをスキャンしてください。

パラメータ	工場出荷時設定	設定頁
一般設定		
すべてを工場出荷状態に戻す	-	6
LED 照射時間を変更する	3.0 sec	6
パワーモード	Low Power	7
トリガーモード	Level	8
読めなかったときのメッセージ	Disable	9
パラメータ パス スルー	Disable	10
全てのバーコードの読み取りを無効にする	N/A	11
リニアコードタイプのセキュリティレベル	1	12
JAN (UPC/EAN)		
UPC-A の有効無効	Enable	14
UPC-E の有効無効	Enable	14
UPC-E1 の有効無効	Disable	15
EAN-8 の有効無効	Enable	15
EAN-13 の有効無効	Enable	16
Bookland EAN の有効無効	Disable	17
Bookland ISBN フォーマット	ISBN-10	18
JAN (UPC/EAN)のアドオンコード	Ignore	19
JAN (UPC/EAN)自動判別を選択した場合	7	22
JAN (UPC/EAN)の補足 AIM ID フォーマット	Combined	23
UPC-A チェックディジット	Enable	24
UPC-E チェックディジット	Enable	24
UPC-E1 チェックディジット	Enable	25
UPC-A 接頭文字	System Character	26
UPC-E 接頭文字	System Character	27
UPC-E1 接頭文字	System Character	28
UPC-E から、UPC-A への変換	Disable	29
UPC-E1 から、UPC-A への変換	Disable	29

EAN ゼロ拡張	Disable	30
JAN (UPC/EAN)セキュリティレベル	1	31
UCC クーポン拡張コード	Disable	32
クーポンレポート	Both Coupon Formats	33
ISSN EAN	Disable	34
Code 128		
Code128 の有効無効	Enable	35
Code128 の長さの選択	1-55	36
GS1-128 (元 UCC/EAN-128) の有効無効	Enable	38
ISBT128 の有効無効	Enable	38
連結 ISBT	Disable	39
ISBT テーブルチェック	Enable	40
ISBT 連結重複読み	10	40
Code 39		
Code39 の有効無効	Enable	41
Trioptic Code39 の有効無効	Disable	42
Code39 から Code32 への変換 (イタリアンフ ァーマコード)	Disable	43
Code32 接頭文字	Disable	43
Code39 の長さ設定	2-55	44
Code39 チェックディジットの検証	Disable	46
Code39 チェックディジットの電送	Disable	46
Code39 Full ASCII の有効無効	Disable	47
Code 93		
Code93 の有効無効	Disable	48
Code93 の長さ設定	4-55	49
Code 11		
Code11 の有効無効	Disable	51
Code11 の長さ設定	4-55	52
Code11 チェックディジットの整合性	Disable	54
Code11 チェックディジットの電送	Disable	55
Interleaved 2 of 5 (ITF)		
Interleaved 2 of 5 の有効無効	Enable	56
Interleaved 2 of 5 の長さ設定	14	57
Interleaved 2 of 5 チェックディジットの整合性	Disable	59

Interleaved 2 of 5 の電送	Disable	60
Interleaved 2 of 5 から EAN-13 への変換	Disable	61
Discrete 2 of 5		
Discrete 2 of 5 の有効無効	Disable	62
Discrete 2 of 5 の長さ設定	12	63
Chinese 2 of 5		
Chinese 2 of 5 の有効無効	Disable	65
Matrix 2 of 5		
Matrix 2 of 5 の有効無効	Disable	66
Matrix 2 of 5 の長さ設定	14	67
Matrix 2 of 5 の重複	Disable	69
Matrix 2 of 5 のチェックディジットの整合性	Disable	70
Matrix 2 of 5 の電送	Disable	70
Inverse 1D		
Inverse 1D	Regular	71
NW7 (Codabar)		
NW7 (Codabar) の有効無効	Disable	72
NW7 (Codabar) の長さ設定	5-55	73
CLSI Editing	Disable	75
NOTIS Editing	Disable	75
NW7 (Codabar) の最初と最後の文字の、大文字・小文字判別	Lower Case	76
MSI		
MSI の有効無効	Disable	77
MSI の長さ設定	6-55	78
MSI のチェックディジットの整合性	One	80
MSI の電送	Disable	81
MSI チェックディジットアルゴリズム	Mod 10/Mod 10	81
GS1 DataBar		
GS1-Databar Omnidirectional の有効無効	Enable	82
GS1-Databar Limited の有効無効	Enable	82
GS1-Databar Expanded の有効無効	Enable	83
GS1-Databar から JAN (UPC/EAN) への変換	Disable	83
Data Options		
Code ID キャラクタの電送	None	84

接頭・接尾文字 (接頭文字/ 接尾文字 1/ 接尾文字 2)	(NULL / CR / LF)	85
スキャンデータの読み取り時フォーマット	Data as is	91
補足情報：数字バーコード		94
補足情報：シンボルコード ID 表		97
補足情報：AIM コード ID 表		98
補足情報：修飾キャラクタ表		99

すべてを工場出荷状態に戻す

下記のバーコードをスキャンすると、工場出荷状態に戻ります。



Set Factory Defaults

LED 照射時間を変更する

LED 照射時間は 0.1 秒間隔で、0.50 秒～25.5 秒まで設定ができます。これを設定するには、下記のバーコードを読んで、94 ページの【数字バーコード】を 2 つ読んで下さい。

例えば、0.5 秒にしたいときは、下記のバーコードを読んだ後、 [0]、[5]、[0] 。

例えば、10.5 秒にしたい場合は、下記のバーコードを読んだ後、 [1]、[0]、[5] 。

(キャンセルをしたい場合は、キャンセルバーコードを読んで下さい。)



LED On Time (Default: 3.0 sec.)

パワーモード

エンジンのパワーモードを変更できます。

ローパワーモードの場合は、スキャンエンジンがスリープモードに可能な限り入るように設定されています。(ウェイクアップモードとして常時起きているモードもあります。)

連続モードの場合は、スキャンエンジンは、スリープモードに入りません。

デフォルトは、ローパワーモードです。

- 連続モード



Continuous Power
(00h)

- ローパワーモード



***Low Power**
(01h)

トリガーモード

このパラメータは、トリガー押下時の挙動を決定します。デフォルトは、単発モードです。

- 連続モード：トリガーボタンを押している限り読み続けます。異なるバーコードの種類も連続で読みとることができます。

（注意）複数のバーコードを読み取る間隔が非常に早い場合、正しく動作しない場合があります。



**Continuous
(01h)**

- 単発モード：1つのバーコードを読んだ時点で止まります。



*** Level
(00h)**

読めなかったときのメッセージ

読めなかったとき、トリガーを手放した場合など、「NR」と表示されます。無効にすると、バーコードが読めなくても、何もメッセージはでません。

- ・ 有効



**Enable No Read
(01h)**

- ・ 無効



***Disable No Read
(00h)**

パラメータ パス スルー

パラメータ パス スルーを有効にすると、Code128 を下記のフォーマットで読み取ります。

<FNC3>L<any length data>

<FNC3>B<12 characters of data>

Code128 特殊文字の<FNC3>が、データの先頭には必ずあります。しかし、もし適切なフォーマットで無い場合、読み取り不可となります。

- ・ 有効



**Enable Parameter Pass Through
(01h)**

- ・ 無効



***Disable Parameter Pass Through
(00h)**

全てのバーコードの読み取りを無効にする

下記のバーコードを読むと、すべての種類のバーコードの読み取りを不可にできます。
その後、必要なバーコードのみの読み取り設定をして下さい。



Disable All Symbologies

リニアコードタイプのセキュリティレベル

リニアタイプのバーコードに対して 4 種類のセキュリティレベルを設定することができます。バーコード品質レベルの低下に応じて、より高いセキュリティレベルを選択してください。

セキュリティレベルが上がれば、スキャナの読み取り速度は低下します。バーコードの品質に適したセキュリティレベルを選択してください。

・ レベル 1

以下の表に記載の種類・桁数に該当するコードは 2 度読み一致、それ以外のコードは 1 度読み一致を行います。

コードタイプ	桁数
Codaber	8 桁以下
MSI	4 桁以下
D 2 of 5	8 桁以下
I 2 of 5	8 桁以下



***Linear Security Level 1
(01h)**

・ レベル 2

すべてのコードタイプのバーコードを読み取る際、2 度読み一致を行います。

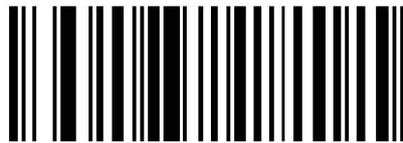


**Linear Security Level 2
(02h)**

- レベル3

以下の表に記載の種類・桁数に該当するコードを読み取る際は3度読み一致、それ以外のコードは2度読み一致を行います。

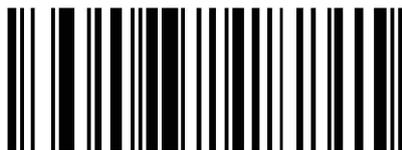
コードタイプ	桁数
Codaber	8桁以下
MSI	4桁以下
D 2 of 5	8桁以下
I 2 of 5	8桁以下



**Linear Security Level 3
(03h)**

- レベル4

すべてのコードタイプのバーコードを読み取る際、3度読み一致を行います。



**Linear Security Level 4
(04h)**

JAN (UPC/EAN)

UPC-A の有効無効

有効か無効かを選択して下さい。

- 有効



***Enable UPC-A
(01h)**

- 無効



**Disable UPC-A
(00h)**

UPC-E の有効無効

有効か無効かを選択して下さい。

- 有効



***Enable UPC-E
(01h)**

- 無効



**Disable UPC-E
(00h)**

UPC-E1 の有効無効

有効か無効かを選択して下さい。

- ・ 有効



**Enable UPC-E1
(01h)**

- ・ 無効



***Disable UPC-E1
(00h)**

EAN-8 の有効無効

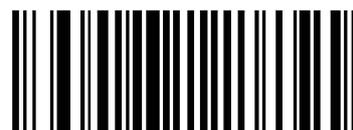
有効か無効かを選択して下さい。

- ・ 有効



***Enable EAN-8
(01h)**

- ・ 無効



**Disable EAN-8
(00h)**

EAN-13 の有効無効

有効か無効かを選択して下さい。

- ・ 有効



***Enable EAN-13
(01h)**

- ・ 無効



**Disable EAN-13
(00h)**

Bookland EAN の有効無効

有効か無効かを選択して下さい。

- ・ 有効



**Enable Bookland EAN
(01h)**

- ・ 無効



***Disable Bookland EAN
(00h)**

注意：

この Bookland EAN を有効にした場合、ISBN フォーマットを 18 ページから選んでください。また、UPC/EAN 補足事項を参照してください。

Bookland ISBN フォーマット

Bookland EAN を有効にした場合、下記のいずれかを選択して下さい。

- Bookland ISBN-10

これは、978 で始まる 10 桁のバーコードを読むことができます。979 は、Bookland と認識しません。



***Bookland ISBN-10
(00h)**

- Bookland ISBN-13

これは、2007 ISBN-13 プロトコルに合致した EAN13 の 13 桁のバーコードを読みとります。(978、または、979 で始まるコード)



**Bookland ISBN-13
(01h)**

注意：

Bookland EAN を正常に稼働させるためには、Bookland EAN を有効にした後に、このフォーマットを設定して下さい。

JAN (UPC/EAN)のアドオンコード

アドオンコードとは、特定のフォーマットのバーコードに付随されているバーコードです。

例えば、UPC-A+2、UPC-E+2、EAN13+2 などです。

次のようなオプションがあります。

- ・ アドオンコードを読みとらない
アドオンコードを無視します。



***Ignore UPC/EAN With Supplementals (00h)**

- ・ アドオンコードを読みとる
アドオンコード付きの UPC/EAN のみを読みとります。ついていないものは、無視します。



Decode UPC/EAN With Supplementals (01h)

- ・ アドオンコードの自動判別
アドオンコードがあればアドオンコード付きで読みとります。アドオンコードがついていないものについては、無いことを確認するために、設定した回数分 UPC / EAN を読み込みます。この回数設定は、次の節で設定ができます。



Autodiscriminate UPC/EAN Supplementals (02h)

- ・ アドオンモードのオプション

下記のアドオンモードを読むと、接頭値としてアドオンコードがある EAN-13 を読みとります。アドオンコードがついていないものについては、無いことを確認するために、設定した回数分 UPC / EAN を読み込みます。この回数設定は、次の節で設定ができます。

- 378/379 アドオンモード有効



**Enable 378/379 Supplemental Mode
(04h)**

- 978/979 アドオンモード有効

(注意) もし、978/979 を選択して Bookland EAN を読む場合は、17 ページの *Bookland EAN* の有効無効で Bookland EAN の読み取りを有効にして、18 ページの *Bookland ISBN* フォーマットでフォーマットの設定を行って下さい。



**Enable 978/979 Supplemental Mode
(05h)**

- 977 アドオンモード有効



**Enable 977 Supplemental Mode
(07h)**

- 414/419/434/439 アドオンモード有効



**Enable 414/419/434/439 Supplemental Mode
(06h)**

- 491 アドオンモード有効



**Enable 491 Supplemental Mode
(08h)**

- スマートアドオンモード有効（上記の接頭がついた EAN-13 のバーコード）



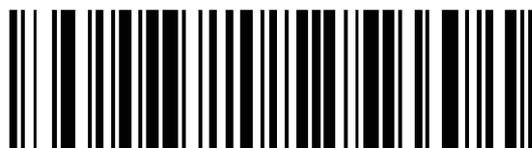
**Enable Smart Supplemental Mode
(03h)**

（注意）誤読のリスクを避けるために、アドオンコードを読みとるか、読みとらないかを設定することをお勧めします。

JAN (UPC/EAN)自動判別を選択した場合

アドオンコードが無いものを何度読むかを設定するものです。2回～20回までが選べます。もし、UPC/EANのアドオンコードありと、なしが混在したものを読む場合は、5回、または、それ以上をお勧めします。

下記のバーコードをスキャンし、重複回数を設定して下さい。次に94ページの【数字バーコード】から2つの数字を読んで下さい。もし回数に1桁を設定する場合は最初にゼロを読んで下さい。



**Decode UPC/EAN Supplemental Redundancy
(Default: 7)**

JAN (UPC/EAN)の補足 AIM ID フォーマット

AIM コード ID (84 ページ) で選んだ文字をどのように付けるかどうかを選択します。

- ・ 分割 : AIM ID を分けるが、一つのコードとして送信

]E<0 or 4><data>]E<1 or 2>[supplemental data]



**Separate
(00h)**

- ・ 結合 : AIM ID を結合した文字列として送信

]E3<data + supplemental data>



***Combined
(01h)**

- ・ 分割送信 : AIM ID を分ける

]E<0 or 4><data>

]E<1 or 2>[supplemental data]



**Separate Transmissions
NEW END**

UPC-A チェックディジット

チェックディジットを送信するかどうかを選択して下さい。

- ・ 送信する



***Transmit UPC-A Check Digit
(01h)**

- ・ 送信しない



**Do Not Transmit UPC-A Check Digit
(00h)**

UPC-E チェックディジット

チェックディジットを送信するかどうかを選択して下さい。

- ・ 送信する



***Transmit UPC-E Check Digit
(01h)**

- ・ 送信しない



**Do Not Transmit UPC-E Check Digit
(00h)**

UPC-E1 チェックディジット

チェックディジットを送信するかどうかを選択して下さい。

- ・ 送信する



***Transmit UPC-E1 Check Digit
(01h)**

- ・ 送信しない



**Do Not Transmit UPC-E1 Check Digit
(00h)**

UPC-A 接頭文字

国番号やシステム文字を、UPC-A の一部として読みとることができます。

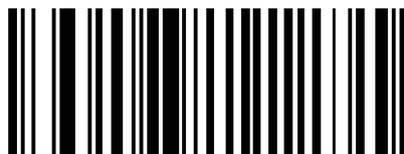
下記の中から選択して下さい。

- ・ なし



No Preamble
(<DATA>)
(00h)

- ・ システム文字のみ



***System Character**
(<SYSTEM CHARACTER> <DATA>)
(01h)

- ・ 国番号とシステム文字



System Character & Country Code
(< COUNTRY CODE> <SYSTEM CHARACTER> <DATA>)
(02h)

UPC-E 接頭文字

国番号やシステム文字を、UPC-Aの一部として読みとることができます。

下記の中から選択して下さい。

- ・ なし



**No Preamble
(<DATA>)
(00h)**

- ・ システム文字のみ



***System Character
(<SYSTEM CHARACTER> <DATA>)
(01h)**

- ・ 国番号とシステム文字



**System Character & Country Code
(< COUNTRY CODE> <SYSTEM CHARACTER> <DATA>)
(02h)**

UPC-E1 接頭文字

国番号やシステム文字を、UPC-Aの一部として読みとることができます。

下記の中から選択して下さい。

- ・ なし



No Preamble
(<DATA>)
(00h)

- ・ システム文字のみ



***System Character**
(<SYSTEM CHARACTER> <DATA>)
(01h)

- ・ 国番号とシステム文字



System Character & Country Code
(< COUNTRY CODE> <SYSTEM CHARACTER> <DATA>)
(02h)

UPC-E から、UPC-A への変換

UPC-E フォーマットから UPC-A フォーマットに、送信前に変換します。

- ・ 変換する



Convert UPC-E to UPC-A (Enable)
(01h)

- ・ 変換しない



***Do Not Convert UPC-E to UPC-A (Disable)**
(00h)

UPC-E1 から、UPC-A への変換

UPC-E1 フォーマットから UPC-A フォーマットに、送信前に変換します。

- ・ 変換する



Convert UPC-E1 to UPC-A (Enable)
(01h)

- ・ 変換しない

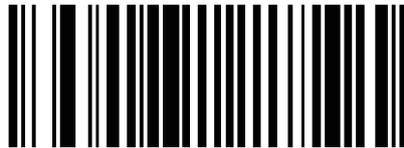


***Do Not Convert UPC-E1 to UPC-A (Disable)**
(00h)

EAN ゼロ拡張

このパラメータが有効な場合は、EAN8 に 5 個のゼロをつけて EAN13 に対応するようにします。

- ・ 有効



**Enable EAN Zero Extend
(01h)**

- ・ 無効



***Disable EAN Zero Extend
(00h)**

JAN (UPC/EAN)セキュリティレベル

バーコード品質レベルに合わせたものを選択して下さい。セキュリティレベルを上げるとリードする積極性レベルは下がり誤読が下がります。

レベル0

この設定は、もっとも積極的にバーコードを読みます。適切なバーコードであれば十分なセキュリティです。



**UPC/EAN Security Level 0
(00h)**

レベル1

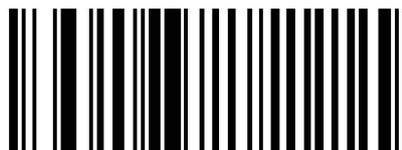
バーコードの品質が落ちた場合、一定の文字が誤読する傾向（1,2,7,8 の前の文字を誤読）が起きます。もしこのバーコード印刷の品質が悪いために起こる誤読があれば、このレベルを選択して下さい。



***UPC/EAN Security Level 1
(01h)**

レベル2

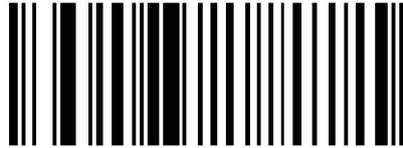
印刷が悪く、1,2,7,8 の文字に関係なく誤読をおこす場合、このレベルを選択して下さい。



**UPC/EAN Security Level 2
(02h)**

レベル3

レベル2でも、まだ、この誤読が起こる場合は、このオプションを選択して下さい。
アドバイスとして、このオプションを選択することは、バーコードスペックが外れているものに対して厳しく判別します。このレベルのセキュリティを選択することは、スキャンエンジンの能力を弱めることとなります。もし、このレベルが必要であれば、バーコードの品質をあげることを試みて下さい。



UPC/EAN Security Level 3 (03h)

UCC クーポン拡張コード

UCC クーポン拡張コードは、UCC クーポンコードに隣接された追加バーコードです。有効にするかどうかは、下記のバーコードを選択して下さい。

- ・ 有効



Enable UCC Coupon Extended Code (01h)

- ・ 無効



*Disable UCC Coupon Extended Code (00h)

クーポンレポート

古典的クーポンシンボルは、UPC/EAN と CODE128 の2つのバーコードで構成されています。新しいクーポンシンボルは、一つの Databar 拡張バーコードで構成されています。

下記のバーコードで、どちらを読むか、両方とも読むかを選択して下さい。

- 古典的クーポンシンボル



**Old Coupon Symbols
(00h)**

- 新しいクーポンシンボル



**New Coupon Symbols
(01h)**

- 両方ともに読み取り



***Both Coupon Formats
(02h)**

ISSN EAN

読み込み可能か選択します。

- ・ 有効



**Enable ISSN EAN
(01h)**

- ・ 無効



***Disable ISSN EAN
(00h)**

Code128

Code128 の有効無効

読み込み可能か選択します。

- ・ 有効



***Enable Code 128
(01h)**

- ・ 無効



**Disable Code 128
(00h)**

Code128 の長さの選択

コードの長さは、チェックディジットも含んだ文字（人間が読める文字）数によります。Code128 の長さは、①1つの個別の長さ、②2つの個別の長さ、③特定のレンジの長さ、あるいは、④様々な長さをセットできます。

（注意）1桁の数字をセットする場合は、最初にゼロを読み取って下さい。

① 1つの個別の長さ

このオプションを選んだ場合、Code128 のシンボルは、1つの特定の長さのみ読み取るようになります。以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を2つ読み取って下さい。

例えば、14桁の Code128 のシンボルにしたい場合は、[Code128 - One Discrete Length] を選択し、次に、[1]、[4]をスキャンして下さい。



Code 128 - One Discrete Length

②2つの個別の長さ

このオプションを選んだ場合、2つの長さの Code128 を読みとることができます。以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を4つ読み取って下さい。

例えば、2桁か、14桁の Code128 だけを読みとりたい場合、[Code128 - Two Discrete Lengths]を選択し、[0]、[2]、[1]、[4]を選択して下さい。



Code 128 - Two Discrete Lengths

③特定のレンジの長さ

このオプションを選んだ場合、特定のレンジの間の長さを読みとることができます。

以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を4つ読み取って下さい。

例えば、4桁～12桁の Code128 を読みとりたい場合、[Code128 - Length Within Range] を選択し、[0]、[4]、[1]、[2]を選択して下さい。



Code 128 - Length Within Range

④様々な長さ

このオプションを選択した場合、どのような長さの Code128 も読みとることができます。



***Code 128 - Any Length**

GS1-128 (元 UCC/EAN-128) の有効無効

読み込み可能か選択します。

- ・ 有効



***Enable GS1-128
(01h)**

- ・ 無効



**Disable GS1-128
(00h)**

ISBT128 の有効無効

読み込み可能か選択します。

- ・ 有効



***Enable ISBT 128
(01h)**

- ・ 無効



**Disable ISBT 128
(00h)**

連結 ISBT

連結 ISBT のタイプを選択できます。

- ・ 無効：スキャナは ISBT を連結しません。



***Disable ISBT Concatenation
(00h)**

- ・ 有効： ISBT は、連結するために必ず 2 つある必要があります。1 つの ISBT シンボルは、読みません。



**Enable ISBT Concatenation
(01h)**

- ・ 自動選択モード：連結 ISBT をすぐに読みます。もし、1 つだけの ISBT シンボルがあれば、もう 1 つの ISBT が無いかどうかを確認するために、40 ページで設定した回数だけ連続で読みます。



**Autodiscriminate ISBT Concatenation
(00h)**

ISBT テーブルチェック

ISBT 仕様は、一般的にペアで使われる ISBT バーコードが並んだテーブルを含みます。連結 ISBT を有効にした場合、ISBT テーブルチェックは、テーブル内で見つかったペアについてのみ連結します。それ以外のタイプの ISBT は連結しません。

- ・ 有効



**Enable Convert Code 39 to Code 32
(01h)**

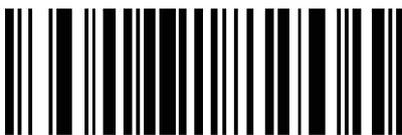
- ・ 無効



***Disable Convert Code 39 to Code 32
(00h)**

ISBT 連結重複読み

もし、ISBT の自動判別を選択した場合は、下記のバーコードを読んで、何度チェックするかを設定して下さい。下のバーコードを読んだ後、94 ページの【数字バーコード】で、2～20 の数字をスキャンして下さい。1桁の数字を設定する場合は、ゼロを前に付けて下さい。



**Enable Code 32 Prefix
(01h)**

Code39

Code39 の有効無効

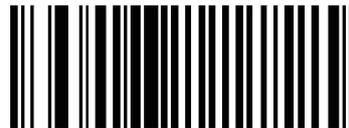
読み込み可能か選択します。

- ・ 有効



***Enable Code 39
(01h)**

- ・ 無効



**Disable Code 39
(00h)**

Trioptic Code39 の有効無効

Code39 のコンピュータテープのカートリッジのための特殊バーコードで、常に 6 文字のコードです。読み込み可能か選択します。

- ・ 有効



**Enable Trioptic Code 39
(01h)**

- ・ 無効



***Disable Trioptic Code 39
(00h)**

注意：

Code39 と、Trioptic Code39 は、同時に有効にできません。もし、Trioptic Code39 の有効が受け付けられない場合は、Code39 Full ASCII を無効にしてから、再度、試して下さい。

Code39 から Code32 への変換（イタリアンファーマコード）

Code32 は、イタリアの製薬業界で使われている Code39 の変異体です。

（注意）このパラメータを使うには、Code39 を有効にしてください。

- ・ 有効



**Enable Convert Code 39 to Code 32
(01h)**

- ・ 無効



***Disable Convert Code 39 to Code 32
(00h)**

Code32 接頭文字

このパラメータを有効にすると、すべての Code32 バーコードに対して、接頭文字「A」を付けます。[Code39 から Code32 への変換]を有効にしてください。

- ・ 有効



**Enable Code 32 Prefix
(01h)**

- ・ 無効



***Disable Code 32 Prefix
(00h)**

Code39 の長さ設定

コードの長さは、チェックディジットも含んだ文字（人間が読める文字）数によります。

Code39 の長さは、①1つの個別の長さ、②2つの個別の長さ、③特定のレンジの長さ、あるいは、④様々な長さをセットできます。

（注意）1桁の数字をセットする場合は、最初にゼロを読み取って下さい。

① 1つの個別の長さ

このオプションを選んだ場合、Code39 のシンボルは、1つの特定の長さのみ読み取るようになります。以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を2つ読み取って下さい。

例えば、14桁の Code39 のシンボルにしたい場合は、[Code39 - One Discrete Length]を選択し、次に、[1]、[4]をスキャンして下さい。



Code 39 - One Discrete Length

②2つの個別の長さ

このオプションを選んだ場合、2つの長さの Code39 を読みとることができます。

以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を4つ読み取って下さい。

例えば、2桁か、14桁の Code39 だけを読みとりたい場合、[Code39 - Two Discrete Lengths]を選択し、[0]、[2]、[1]、[4]を選択して下さい。



Code 39 - Two Discrete Lengths

③特定のレンジの長さ

このオプションを選んだ場合、特定のレンジの間の長さを読みとることができます。

以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を4つ読み取って下さい。

例えば、4桁～12桁の Code39 を読みとりたい場合、[Code39 - Length Within Range]を選択し、[0]、[4]、[1]、[2]を選択して下さい。



Code 39 - Length Within Range

④様々な長さ

このオプションを選択した場合、どのような長さの Code39 も読みとることができます。



Code 39 - Any Length

Code39 チェックディジットの検証

Code39 のアルゴリズムで、チェックディジットが正しいかを検証するかどうかを選択して下さい。Code39 にモジュール 43 チェックディジットが含まれている場合に有効です。

- ・ 検証する



**Verify Code 39 Check Digit
(01h)**

- ・ 検証しない



***Do Not Verify Code 39 Check Digit
(00h)**

Code39 チェックディジットの電送

チェックディジットを電送するかしないかを選択して下さい。

- ・ 送信する



**Transmit Code 39 Check Digit (Enable)
(01h)**

- ・ 送信しない



***Do Not Transmit Code 39 Check Digit (Disable)
(00h)**

(注意) チェックディジットが有効になっている場合のみ有効です。

Code39 Full ASCII の有効無効

Code39 Full ASCII は、Full ASCII 文字をエンコードするための 2 つの文字の Code39 の変異体です。

- ・ 有効



**Enable Code 39 Full ASCII
(00h)**

- ・ 無効



***Disable Code 39 Full ASCII
(00h)**

注意：

Code39 Full ASCII と、Trioptic Code39 は、同時に有効にできません。もし、Trioptic Code39 の有効が受け付けられない場合は、Code39 Full ASCII を無効にしてから、再度、試して下さい。

Code93

Code93 の有効無効

読み込み可能か選択します。

- ・ 有効



Enable Code 93
(01h)

- ・ 無効



***Disable Code 93**
(00h)

Code93 の長さ設定

コードの長さは、チェックディジットも含んだ文字（人間が読める文字）数によります。

Code93 の長さは、①1つの個別の長さ、②2つの個別の長さ、③特定のレンジの長さ、あるいは、④様々な長さをセットできます。

（注意）1桁の数字をセットする場合は、最初にゼロを読み取って下さい。

① 1つの個別の長さ

このオプションを選んだ場合、Code93 のシンボルは、1つの特定の長さのみ読み取るようになります。以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を2つ読み取って下さい。

例えば、14桁の Code93 のシンボルにしたい場合は、[Code93 - One Discrete Length]を選択し、次に、[1]、[4]をスキャンして下さい。



Code 93 - One Discrete Length

②2つの個別の長さ

このオプションを選んだ場合、2つの長さの Code93 を読みとることができます。

以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を4つ読み取って下さい。

例えば、2桁か、14桁の Code93 だけを読みとりたい場合、[Code93 - Two Discrete Lengths]を選択し、[0]、[2]、[1]、[4]を選択して下さい。



Code 93 - Two Discrete Lengths

③特定のレンジの長さ

このオプションを選んだ場合、特定のレンジの間の長さを読みとることができます。

以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を4つ読み取って下さい。

例えば、4桁～12桁の Code93 を読みとりたい場合、[Code93 - Length Within Range]を選択し、[0]、[4]、[1]、[2]を選択して下さい。



Code 93 - Length Within Range

④様々な長さ

このオプションを選択した場合、どのような長さの Code93 も読みとることができます。



Code 93 - Any Length

Code11

Code11 の有効無効

読み込み可能か選択します。

- ・ 有効



Enable Code 11
(01h)

- ・ 無効



***Disable Code 11**
(00h)

Code11 の長さ設定

コードの長さは、チェックディジットも含んだ文字（人間が読める文字）数によります。

Code11 の長さは、①1つの個別の長さ、②2つの個別の長さ、③特定のレンジの長さ、あるいは、④様々な長さをセットできます。

（注意）1桁の数字をセットする場合は、最初にゼロを読み取って下さい。

① 1つの個別の長さ

このオプションを選んだ場合、Code11 のシンボルは、1つの特定の長さのみ読み取るようになります。以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を2つ読み取って下さい。

例えば、14桁の Code11 のシンボルにしたい場合は、[Code11 - One Discrete Length]を選択し、次に、[1]、[4]をスキャンして下さい。



Code 11 - One Discrete Length

②2つの個別の長さ

このオプションを選んだ場合、2つの長さの Code11 を読みとることができます。

以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を4つ読み取って下さい。

例えば、2桁か、14桁の Code11 だけを読みとりたい場合、[Code11 - Two Discrete Lengths]を選択し、[0]、[2]、[1]、[4]を選択して下さい。



Code 11 - Two Discrete Lengths

③特定のレンジの長さ

このオプションを選んだ場合、特定のレンジの間の長さを読みとることができます。

以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を4つ読み取って下さい。

例えば、4桁～12桁の Code11 を読みとりたい場合、[Code11 - Length Within Range]を選択し、[0]、[4]、[1]、[2]を選択して下さい。



Code 11 - Length Within Range

④様々な長さ

このオプションを選択した場合、どのような長さの Code11 も読みとることができます。



Code 11 - Any Length

Code11 チェックディジットの整合性

Code11 のアルゴリズムで、チェックディジットが正しいかどうかを検証するかどうかを選択して下さい。

このオプションは、1つのチェックディジット、2つのチェックディジットをするか、無効にするかを選択して下さい。

- ・ 無効



***Disable
(00h)**

- ・ 1つのチェックディジット



**One Check Digit
(01h)**

- ・ 2つのチェックディジット



**Two Check Digits
(02h)**

Code11 チェックディジットの電送

チェックディジットを電送するかしないかを選択して下さい。

- ・ 送信する



**Transmit Code 11 Check Digit(s) (Enable)
(01h)**

- ・ 送信しない



***Do Not Transmit Code 11 Check Digit(s) (Disable)
(00h)**

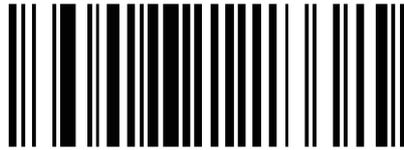
(注意) チェックディジットが有効になっている場合のみ有効です。

Interleaved 2 of 5

Interleaved 2 of 5 の有効無効

読み込み可能か選択します。

- ・ 有効



***Enable Interleaved 2 of 5
(01h)**

- ・ 無効



**Disable Interleaved 2 of 5
(00h)**

Interleaved 2 of 5 の長さ設定

コードの長さは、チェックディジットも含んだ文字（人間が読める文字）数によります。

Interleaved 2 of 5 の長さは、①1つの個別の長さ、②2つの個別の長さ、③特定のレンジの長さ、あるいは、④様々な長さをセットできます。

（注意）1桁の数字をセットする場合は、最初にゼロを読み取って下さい。

例えば、5をセットする場合には[0]、[5]を読み取って下さい。

① 1つの個別の長さ

このオプションを選んだ場合、Interleaved 2 of 5 のシンボルは、1つの特定の長さのみ読み取るようになります。以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を2つ読み取ってください。

例えば、14桁の Interleaved 2 of 5 のシンボルにしたい場合は、[I 2 of 5 - One Discrete Length]を選択し、次に、[1]、[4]をスキャンして下さい。



I 2 of 5 - One Discrete Length

② 2つの個別の長さ

このオプションを選んだ場合、2つの長さの Interleaved 2 of 5 を読みとることができます。

以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を4つ読み取って下さい。

例えば、2桁と14桁の Interleaved 2 of 5 だけを読みとりたい場合、[I 2 of 5 - Two Discrete Lengths]を選択し、[0]、[2]、[1]、[4]を選択して下さい。



I 2 of 5 - Two Discrete Lengths

③特定のレンジの長さ

このオプションを選んだ場合、特定のレンジの間の長さを読みとることができます。

以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を4つ読み取って下さい。

例えば、4桁～12桁の Interleaved 2 of 5 を読みとりたい場合、[I 2 of 5 - Length Within Range]を選択し、[0]、[4]、[1]、[2]を選択して下さい。



I 2 of 5 - Length Within Range

③ 様々な長さ

このオプションを選択した場合、どのような長さの Interleaved 2 of 5 も読みとることができます。



I 2 of 5 - Any Length

(注意) 様々な長さを読むようにすると、誤読をする可能性があります。

Interleaved 2 of 5 チェックディジットの整合性

USS または、OPCC のいずれかのアルゴリズムでコンパイルされているかチェックします。

- ・ 無効



***Disable
(00h)**

- ・ USS



**USS Check Digit
(01h)**

- ・ OPCC

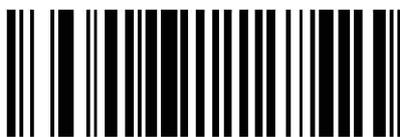


**OPCC Check Digit
(02h)**

Interleaved 2 of 5 の電送

チェックディジットを電送するかしないかを選択して下さい。

- ・ 送信する



Transmit I 2 of 5 Check Digit (Enable)
(01h)

- ・ 送信しない



***Do Not Transmit I 2 of 5 Check Digit (Disable)**
(00h)

(注意) チェックディジットが有効になっている場合のみ有効です。

Interleaved 2 of 5 から EAN-13 への変換

このパラメータは、14桁の Interleaved 2 of 5 を EAN-13 へ変換します。変換するためには、Interleaved 2 of 5 を有効にすること、桁数を 14 桁にすること、初期文字がゼロであり有効な EAN-13 のチェックディジットであることが必要です。

- ・ 返還する



Convert I 2 of 5 to EAN-13 (Enable)
(01h)

- ・ 変換しない



***Do Not Convert I 2 of 5 to EAN-13 (Disable)**
(00h)

Discrete 2 of 5

Discrete 2 of 5 の有効無効

読み込み可能か選択します。

- ・ 有効



**Enable Discrete 2 of 5
(01h)**

- ・ 無効



***Disable Discrete 2 of 5
(00h)**

Discrete 2 of 5 の長さ設定

コードの長さは、チェックディジットも含んだ文字（人間が読める文字）数によります。

Discrete 2 of 5 の長さは、①1つの個別の長さ、②2つの個別の長さ、③特定のレンジの長さ、あるいは、④様々な長さをセットできます。

① 1つの個別の長さ

このオプションを選んだ場合、Discrete 2 of 5 のシンボルは、1つの特定の長さのみ読み取るようになります。以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を2つ読み取って下さい。

例えば、14桁の Discrete 2 of 5 のシンボルにしたい場合は、[D 2 of 5 - One Discrete Length]を選択し、次に、[1]、[4]をスキャンして下さい。



D 2 of 5 - One Discrete Length

②2つの個別の長さ

このオプションを選んだ場合、2つの長さの Code93 を読みとることができます。

以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を4つ読み取って下さい。

例えば、2桁か、14桁の Discrete 2 of 5 だけを読み取りたい場合、[D 2 of 5 - Two Discrete Lengths]を選択し、[0]、[2]、[1]、[4]を選択して下さい。



D 2 of 5 - Two Discrete Lengths

③特定のレンジの長さ

このオプションを選んだ場合、特定のレンジの間の長さを読みとることができます。

以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を4つ読み取って下さい。

例えば、4桁～12桁の Discrete 2 of 5 を読みとりたい場合、[D 2 of 5 - Length Within Range]を選択し、[0]、[4]、[1]、[2]を選択して下さい。



D 2 of 5 - Length Within Range

④様々な長さ

このオプションを選択した場合、どのような長さの Discrete 2 of 5 も読みとることができます。



D 2 of 5 - Any Length

(注意) 様々な長さを読むようにすると、誤読をする可能性があります。

Chinese 2 of 5

Chinese 2 of 5 の有効無効

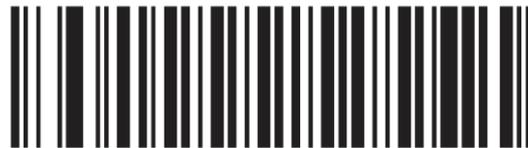
読み込み可能か選択します。

- ・ 有効



**Enable Chinese 2 of 5
(01h)**

- ・ 無効



***Disable Chinese 2 of 5
(00h)**

Matrix 2 of 5

Matrix 2 of 5 の有効無効

読み込み可能か選択します。

- ・ 有効



**Enable Matrix 2 of 5
(01h)**

- ・ 無効



***Disable Matrix 2 of 5
(00h)**

Matrix 2 of 5 の長さ設定

コードの長さは、チェックディジットも含んだ文字（人間が読める文字）数によります。
Matrix 2 of 5 の長さは、①1つの個別の長さ、②2つの個別の長さ、③特定のレンジの長さ、
あるいは、④様々な長さをセットできます。

① 1つの個別の長さ

このオプションを選んだ場合、Matrix 2 of 5 のシンボルは、1つの特定の長さのみ読み取るようになります。以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を2つ読み取って下さい。

例えば、14桁の Matrix 2 of 5 のシンボルにしたい場合は、[Matrix 2 of 5 - One Discrete Length]を選択し、次に、[1]、[4]をスキャンして下さい。



*Matrix 2 of 5 - One Discrete Length

②2つの個別の長さ

このオプションを選んだ場合、2つの長さの Code93 を読みとることができます。
以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を4つ読み取って下さい。

例えば、2桁か、14桁の Matrix 2 of 5 だけを読みとりたい場合、[Matrix 2 of 5 - Two Discrete Lengths]を選択し、[0]、[2]、[1]、[4]を選択して下さい。



Matrix 2 of 5 - Two Discrete Lengths

③特定のレンジの長さ

このオプションを選んだ場合、特定のレンジの間の長さを読みとることができます。

以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を4つ読み取って下さい。

例えば、4桁～14桁の Matrix 2 of 5 を読みとりたい場合、[Matrix 2 of 5 - Length Within Range]を選択し、[0]、[4]、[1]、[2]を選択して下さい。



Matrix 2 of 5 - Length Within Range

④様々な長さ

このオプションを選択した場合、どのような長さの Matrix 2 of 5 も読みとることができます。



Matrix 2 of 5 - Any Length

Matrix 2 of 5 の重複

有効にするか、無効にするかを選択してください。

- ・ 有効



**Enable Matrix 2 of 5 Redundancy
(01h)**

- ・ 無効



***Disable Matrix 2 of 5 Redundancy
(00h)**

Matrix 2 of 5 のチェックディジットの整合性

整合性を確認します。有効にするか、無効にするかを選択してください。

- ・ 有効



**Enable Matrix 2 of 5 Check Digit
(01h)**

- ・ 無効



***Disable Matrix 2 of 5 Check Digit
(00h)**

Matrix 2 of 5 の電送

チェックディジットを電送するかしないかを選択して下さい。

- ・ 送信する



**Transmit Matrix 2 of 5 Check Digit
(01h)**

- ・ 送信しない



***Do Not Transmit Matrix 2 of 5 Check Digit
(00h)**

(注意) チェックディジットが有効になっている場合のみ有効です。

Inverse 1D

このパラメータは、1D リコーダー設定を設定します。

- Regular Only



***Regular
(00h)**

- Inverse Only



**Inverse Only
(01h)**

- Inverse 自動判別 (両方とも読みます)



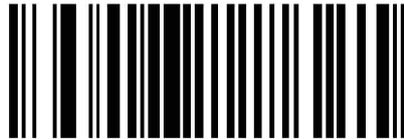
**Inverse Autodetect
(02h)**

NW7 (Codabar)

NW7 (Codabar)の有効無効

読み込み可能か選択します。

- ・ 有効



**Enable Codabar
(01h)**

- ・ 無効



***Disable Codabar
(00h)**

NW7 (Codabar)の長さ設定

コードの長さは、チェックディジットも含んだ文字（人間が読める文字）数によります。
Codabar の長さは、①1つの個別の長さ、②2つの個別の長さ、③特定のレンジの長さ、あるいは、④様々な長さをセットできます。

① 1つの個別の長さ

このオプションを選んだ場合、Codabar のシンボルは、1つの特定の長さのみ読み取るようになります。以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を2つ読み取って下さい。

例えば、14桁の Codabar のシンボルにしたい場合は、[Codabar - One Discrete Length] を選択し、次に、[1]、[4]をスキャンして下さい。



Codabar - One Discrete Length

② 2つの個別の長さ

このオプションを選んだ場合、2つの長さの Codabarを読みとることができます。以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を4つ読み取って下さい。

例えば、2桁か、14桁の Codabar だけを読みとりたい場合、[Codabar - Two Discrete Lengths]を選択し、[0]、[2]、[1]、[4]を選択して下さい。



Codabar - Two Discrete Lengths

③特定のレンジの長さ

このオプションを選んだ場合、特定のレンジの間の長さを読みとることができます。

以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を4つ読み取って下さい。

例えば、4桁～12桁の Codabar を読みとりたい場合、[Codabar - Length Within Range] を選択し、[0]、[4]、[1]、[2]を選択して下さい。



Codabar - Length Within Range

④様々な長さ

このオプションを選択した場合、どのような長さの Codabar も読みとることができます。



Codabar - Any Length

CLSI Editing

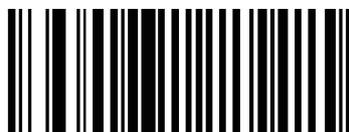
このパラメータは、最初と最後の文字をとって、14桁の Codabar の1番最初の文字・5番目の文字・10番目の文字の後にスペースを入れます。

- ・ 有効



**Enable CLSI Editing
(01h)**

- ・ 無効



***Disable CLSI Editing
(00h)**

NOTIS Editing

Codabar から最初と最後の文字をとります。

- ・ 有効



**Enable NOTIS Editing
(01h)**

- ・ 無効



***Disable NOTIS Editing
(00h)**

NW7 (Codabar)の最初と最後の文字の、大文字・小文字判別

- ・ 大文字

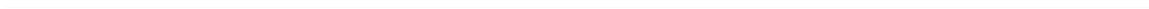


Upper Case
(00h)

- ・ 小文字



***Lower Case**
(01h)



MSI

MSI の有効無効

有効にするか、無効にするかを選択してください。

- ・ 有効



Enable MSI
(01h)

- ・ 無効



***Disable MSI**
(00h)

MSI の長さ設定

コードの長さは、チェックディジットも含んだ文字（人間が読める文字）数によります。

MSI の長さは、①1つの個別の長さ、②2つの個別の長さ、③特定のレンジの長さ、あるいは、④様々な長さをセットできます。

① 1つの個別の長さ

このオプションを選んだ場合、MSI のシンボルは、1つの特定の長さのみ読み取るようになります。以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を2つ読み取って下さい。

例えば、14桁の MSI のシンボルにしたい場合は、[MSI - One Discrete Length]を選択し、次に、[1]、[4]をスキャンして下さい。



MSI - One Discrete Length

② 2つの個別の長さ

このオプションを選んだ場合、2つの長さの MSI を読みとることができます。

以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を4つ読み取って下さい。

例えば、2桁か、14桁の MSI だけを読みとりたい場合、[MSI - Two Discrete Lengths]を選択し、[0]、[2]、[1]、[4]を選択して下さい。



MSI - Two Discrete Lengths

③特定のレンジの長さ

このオプションを選んだ場合、特定のレンジの間の長さを読みとることができます。

以下のバーコードを読み取った後に、94 ページの【数字バーコード】から数字を4つ読み取って下さい。

例えば、4桁～12桁のMSIを読みとりたい場合、[MSI - Length Within Range]を選択し、[0]、[4]、[1]、[2]を選択して下さい。



MSI - Length Within Range

④様々な長さ

このオプションを選択した場合、どのような長さのMSIも読みとることができます。



MSI - Any Length

(注意) 様々な長さを読むようにすると、誤読をする可能性があります。

MSI のチェックディジットの整合性

整合性を確認します。有効にするか、無効にするかを選択してください。

バーコードの最後にあるチェックディジットは、データの整合性をチェックします。チェックディジットは、自動で送ることはしません。

- 1つのチェックディジット



***One MSI Check Digit
(00h)**

- 2つのチェックディジット



**Two MSI Check Digit
(01h)**

2つのチェックディジットを選択した場合、81 ページの MSI チェックディジットアルゴリズムを選択して下さい。

MSI の電送

チェックディジットを電送するかしないかを選択して下さい。

- ・ 送信する



Transmit MSI Check Digit (Enable)
(01h)

- ・ 送信しない



***Do Not Transmit MSI Check Digit (Disable)**
(00h)

(注意) チェックディジットが有効になっている場合のみ有効です。

MSI チェックディジットアルゴリズム

2つのチェックディジットを選択した場合、追加の検証が要求されます。下記の内、いずれかを選択して下さい。



MOD 10/ MOD 11
(00h)



***MOD 10/ MOD 10**
(01h)

GS1-Databar

GS1-Databar Omnidirectional の有効無効

有効にするか、無効にするかを選択してください。

- ・ 有効



***Enable GS1 DataBar Omnidirectional
(01h)**

- ・ 無効



**Disable GS1 DataBar Omnidirectional
(00h)**

GS1-Databar Limited の有効無効

有効にするか、無効にするかを選択してください。

- ・ 有効



***Enable GS1 DataBar Limited
(01h)**

- ・ 無効



**Disable GS1 DataBar Limited
(00h)**

GS1-Databar Expanded の有効無効

有効にするか、無効にするかを選択してください。

- ・ 有効



***Enable GS1 DataBar Expanded
(01h)**

- ・ 無効



**Disable GS1 DataBar Expanded
(00h)**

GS1-Databar から JAN (UPC/EAN)への変換

このパラメータは、GS1-Databar Omnidirectional と、GS1-Databar Limited にのみ有効です。有効か無効かを選択して下さい。

- ・ 有効



Enable Convert GS1 DataBar to UPC/EAN

- ・ 無効



***Disable Convert GS1 DataBar to UPC/EAN**

Code ID キャラクタの電送

Code ID キャラクタは、1 つ以上のバーコードを読みとる場合、有益です。

Code ID キャラクタは、接頭文字と読みとったシンボルの間に挿入されます。下記の 3 つから選択して下さい。

- Symbol Code



**Symbol Code ID Character
(02h)**

- Aim Code



**Aim Code ID Character
(01h)**

- なし



***None
(00h)**

接頭・接尾文字

接頭文字または1文字ないし2文字の接尾文字をデータに追加する事ができます。この設定には、4文字（4バーコード）を読み取る事で、それに対応したASCII文字が追加されます。設定は、次ページ、および94ページの【数字バーコード】を見てください。

- ・ 接頭文字



Scan Prefix

- ・ 接尾文字 1



Scan Suffix 1

- ・ 接尾文字 2



Scan Suffix 2

- ・ キャンセル



Data Format Cancel

バーコードによる接頭・接尾文字の付け方

1. 前ページで、接頭文字 / 接尾文字 1 / 接尾文字 2 を選択してください
2. 下記の表から数字 4 桁を探し、94 ページの【数字バーコード】をスキャンしてください。

読取値	値(16進数)	Full ASCII Code 39 Encode Char.	キー入力
1000	00h	%U	CTRL 2
1001	01h	\$A	CTRL A
1002	02h	\$B	CTRL B
1003	03h	\$C	CTRL C
1004	04h	\$D	CTRL D
1005	05h	\$E	CTRL E
1006	06h	\$F	CTRL F
1007	07h	\$G	CTRL G
1008	08h	\$H	CTRL H
1009	09h	\$I	CTRL I
1010	0Ah	\$J	CTRL J
1011	0Bh	\$K	CTRL K
1012	0Ch	\$L	CTRL L
1013	0Dh	\$M	CTRL M
1014	0Eh	\$N	CTRL N
1015	0Fh	\$O	CTRL O
1016	10h	\$P	CTRL P
1017	11h	\$Q	CTRL Q
1018	12h	\$R	CTRL R
1019	13h	\$S	CTRL S
1020	14h	\$T	CTRL T
1021	15h	\$U	CTRL U
1022	16h	\$V	CTRL V
1023	17h	\$W	CTRL W
1024	18h	\$X	CTRL X

読取値	値(16進数)	Full ASCII Code 39 Encode Char.	キー入力
1025	19h	\$Y	CTRL Y
1026	1Ah	\$Z	CTRL Z
1027	1Bh	%A	CTRL [
1028	1Ch	%B	CTRL ¥
1029	1Dh	%C	CTRL]
1030	1Eh	%D	CTRL 6
1031	1Fh	%E	CTRL -
1032	20h	Space	Space
1033	21h	/A	!
1034	22h	/B	‘
1035	23h	/C	#
1036	24h	/D	\$
1037	25h	/E	%
1038	26h	/F	&
1039	27h	/G	‘
1040	28h	/H	(
1041	29h	/I)
1042	2Ah	/J	*
1043	2Bh	/K	+
1044	2Ch	/L	,
1045	2Dh	-	-
1046	2Eh	.	.
1047	2Fh	/	/
1048	30h	0	0
1049	31h	1	1
1050	32h	2	2
1051	33h	3	3
1052	34h	4	4
1053	35h	5	5
1054	36h	6	6

読取値	値(16進数)	Full ASCII Code 39 Encode Char.	キー入力
1055	37h	7	7
1056	38h	8	8
1057	39h	9	9
1058	3Ah	/Z	:
1059	3Bh	%F	;
1060	3Ch	%G	<
1061	3Dh	%H	=
1062	3Eh	%I	>
1063	3Fh	%J	?
1064	40h	%V	@
1065	41h	A	A
1066	42h	B	B
1067	43h	C	C
1068	44h	D	D
1069	45h	E	E
1070	46h	F	F
1071	47h	G	G
1072	48h	H	H
1073	49h	I	I
1074	4Ah	J	J
1075	4Bh	K	K
1076	4Ch	L	L
1077	4Dh	M	M
1078	4Eh	N	N
1079	4Fh	O	O
1080	50h	P	P
1081	51h	Q	Q
1082	52h	R	R
1083	53h	S	S
1084	54h	T	T

読取値	値(16進数)	Full ASCII Code 39 Encode Char.	キー入力
1085	55h	U	U
1086	56h	V	V
1087	57h	W	W
1088	58h	X	X
1089	59h	Y	Y
1090	5Ah	Z	Z
1091	5Bh	%K	[
1092	5Ch	%L	\ (※¥)
1093	5Dh	%M]
1094	5Eh	%N	^
1095	5Fh	%O	_
1096	60h	%W	‘
1097	61h	+A	a
1098	62h	+B	b
1099	63h	+C	c
1100	64h	+D	d
1101	65h	+E	e
1102	66h	+F	f
1103	67h	+G	g
1104	68h	+H	h
1105	69h	+I	i
1106	6Ah	+J	j
1107	6Bh	+K	k
1108	6Ch	+L	l
1109	6Dh	+M	m
1110	6Eh	+N	n
1111	6Fh	+O	o
1112	70h	+P	p
1113	71h	+Q	q
1114	72h	+R	r

読取値	値(16進数)	Full ASCII Code 39 Encode Char.	キー入力
1115	73h	+S	s
1116	74h	+T	t
1117	75h	+U	u
1118	76h	+V	v
1119	77h	+W	w
1120	78h	+X	x
1121	79h	+Y	y
1122	7Ah	+Z	z
1123	7Bh	%P	{
1124	7Ch	%Q	
1125	7Dh	%R	}
1126	7Eh	%S	~
1127	7Fh		Undefined

※1128～1255 の読取値は今後設定されるかもしれません。

スキャンデータの読み取り時フォーマット

スキャンデータの読み取り時フォーマット変えるには、下記の 11 種類から 1 つを選択してください。



***Data As Is**
(00h)



<DATA><CR><LF>
(01h)



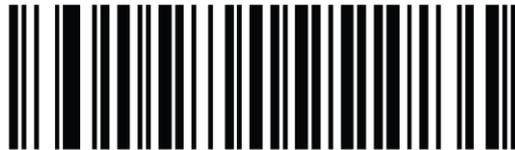
<DATA> <CR>
(02h)



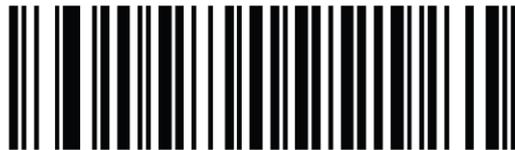
<DATA> <LF>
(03h)



<DATA> <SUFFIX1>
(04h)



<DATA> <SUFFIX2>
(05h)



<DATA> <SUFFIX1><SUFFIX2>
(06h)



<PREFIX><DATA>
(07h)



<PREFIX><DATA> <SUFFIX1>
(08h)



<PREFIX><DATA> <SUFFIX2>
(09h)



<PREFIX><DATA> <SUFFIX1><SUFFIX2>
(0Ah)

補足情報：数字バーコード

・ 0



0

・ 1



1

・ 2



2

・ 3



3

• 4



4

• 5



5

• 6



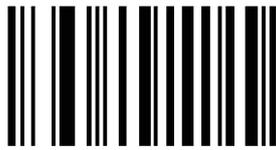
6

• 7



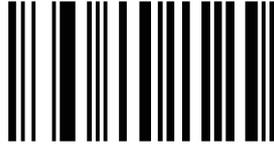
7

• 8



8

• 9



9

• キャンセル



Cancel

補足情報：シンボルコード ID 表

Code Character	Code Type
A	JAN(UPC-A, UPC-E, UPC-E1, EAN-8, EAN-13)
B	Code 39, Code 32
C	NW7(Codabar)
D	Code 128, ISBT 128
E	Code 93
F	Interleaved 2 of 5
G	Discrete 2 of 5
H	Code 11
J	MSI
K	GS1-128
L	Bookland EAN
M	Trioptic Code 39
N	Coupon Code
R	GS1 DataBar Family
S	Matrix 2 of 5
U	Chinese 2 of 5
X	ISSN

補足情報：AIM コード ID 表

各 AIM コード ID は、**lcm** の 3 文字で構成されています。

l = フラグキャラクタ (ASCII 93)

c = コードキャラクタ (補足情報：AIM コード ID 表)

m = 修飾キャラクタ (補足情報：修飾キャラクタ表)

Code Character	Code Type
A	Code 39, Code 39 Full ASCII, Code 32
C	Code 128, ISBT 128, GS1-128, Coupon (Code 128 portion)
E	JAN(UPC/EAN), Coupon (UPC portion)
F	NW7(Codabar)
G	Code 93
H	Code 11
I	Interleaved 2 of 5
M	MSI
S	Discrete 2 of 5, IATA 2 of 5
X	Code 39 Trioptic, Bookland EAN, Matrix 2 of 5, Chinese 2 of 5, ISSN
e	GS1 DataBar Family

補足情報：修飾キャラクタ表

修飾キャラクタは以下の表に基づく適切な Option Value の合計です。

Code Type	Option Value	Option
Code 39		
	0	チェックキャラクタは確認されません。Full ASCII 変換は行いません。
	1	チェックキャラクタ 1 桁がチェックされます。
	3	チェックは有効ですがチェックキャラクタは取り除かれます。
	4	Full ASCII 変換が行われています。
	5	Full ASCII 変換を行いチェックキャラクタ 1 桁がチェックされます。
	7	Full ASCII 変換を行います、チェックキャラクタは取り除かれます。
	例：Full ASCII(チェックキャラクタ W 付)のバーコード A+I+MI+DW は JA7AimId として送信されます。※7 = 3+4	
Trioptic Code 39		
	0	現時点で指定オプションはありません。常に 0 が送信されます。
	例：Trioptic 形式のバーコード 412356 は IX0412356 として送信されます。	
Code 128		
	0	標準データパケット、最初のシンボルキャラクタ位置に FNC1 がありません。
	1	最初のシンボルキャラクタ位置に FNC1 があります。
	2	2 番目のシンボルキャラクタ位置に FNC1 があります。
	例：Code 128(EAN)形式 (最初のシンボルキャラクタ位置に FNC1) のバーコード FNC1Aim Id は IC1AimId として送信されます。	
I 2 of 5		
	0	チェックディジットは確認されません。
	1	チェックディジットは確認されます。
	3	チェックディジットは確認されます、取り除かれます。
	例：I 2 of 5 形式(チェックディジットなし)のバーコード 4123 は II04123 として送信されます。	

Code Type	Option Value	Option
NW7(Codabar)		
	0	チェックディジットは確認されません。
	1	チェックディジットは確認されます。
		例：NW7(Codabar)形式(チェックディジットなし)のバーコード 4123 は 】F04123 として送信されます。
Code 93		
	0	現時点で指定オプションはありません。常に0が送信されます。
		例：Code 93 形式のバーコード 012345678905 は 】G0012345678905 として送信されます。
MSI		
	0	Mod 10 チェックディジットは確認され、送信されます。
	1	Mod 10 チェックディジットは確認されますが、送信されません。
		例：MSI 形式(シングル チェックディジット付)のバーコード 4123 は 】M04123 として送信されます。
D 2 of 5		
	0	現時点で指定オプションはありません。常に0が送信されます。
		例：D 2 of 5 形式のバーコード 4123 は 】S04123 として送信されます。
JAN(UPC/EAN)		
	0	全 EAN(JAN)カントリーコードフォーマットの標準パッケージで、UPC-A と UPC-E、EAN-13 の場合は 13 桁となります。(補足コードを含みません)
	1	補足コード 2 桁データのみ。
	2	補足コード 5 桁データのみ。
	3	UPC-A、UPC-E、EAN-13 の 13 桁のシンボルと 2 桁または 5 桁の補足シンボルを結合したデータパッケージ。
	4	EAN-8 (JAN-8) データパッケージ。
		例：UPC-A 形式のバーコード 012345678905 は 】E00012345678905 として送信されます。
Bookland EAN		
	0	現時点で指定オプションはありません。常に0が送信されます。
		例：Bookland EAN 形式のバーコード 123456789X は 】X0123456789X として送信されます。

※補足事項

AIM 標準の場合、補足コードがある UPC は以下の形式で送信されます：

]E0 (UPC chars) (terminator) **]E2** (supplemental) (terminator)

但し、AsReader では、以下のような形式となります：

]E0 (UPC chars) **]E2** (supplemental)

したがって、2つの補足文字を伴う UPC (01234567890510)は、次のような 21 文字としてホストに送信されます。

]E00012345678905]E110